

街の元気 ● みんなの元気を応援します

# vivacity

ビバ  
シティ

公益社団法人  
石川県柔道整復師会

## 石整広報'98

VOL.  
**12**

2015  
December

特 集

**SSI**

ハツラツと健やかに  
人生を楽しむお手伝い

九谷五彩SKYパラソル

## [柔道整復師倫理綱領]

国民医療の一端として柔道整復術は、国民大衆に広く受け入れられ、民俗医学として伝承してきたところであるが、限りない未来へ連綿として更に継承発展すべく、倫理綱領を定めるものとする。

ここに柔道整復師は、その名誉を重んじ、倫理綱領の崇高な理念と、目的達成に全力を傾注することを誓うものである。

- 1、柔道整復師の職務に誇りと責任をもち、仁慈の心を以て人類への奉仕に生涯を貫く。
- 2、日本古来の柔道精神を涵養し、国民の規範となるべく人格の陶冶に努める。
- 3、相互に尊敬と協力に努め、分をわきまえ法を守り、業務を遂行する。
- 4、学問を尊重し技術の向上に努めると共に、患者に対して常に真摯な態度を以て接する。
- 5、業務上知りえた秘密を厳守すると共に、人種、信条、性別、社会的地位などにかかわらず患者の回復に全力を尽くす。

街の元気 ● みんなの元気を応援します

# VIVACITY

ビバ  
シティ

公益社団法人  
石川県柔道整復師会

## 石整広報 98

VOL.  
12

2015  
December

C O N T E N T S

### 1 卷頭言

柔道整復師としての新たな歴史を築いていこう ニツ谷 剛彦

### 2 サポート接骨石川(SSI)活動報告

- ①KOMATSU全日本鉄人レース
- ②野々市じょんからの里マラソン
- ③金沢マラソン2015
- ④各地域の総合防災訓練に参加

石川県総合防災訓練／白山市出城地区総合防災訓練／白山市松任地区8町  
合同防災訓練

### 10 第39回厚生労働大臣旗争奪日整全国柔道大会

### 11 学びReport

- ①柔道整復師卒後臨床研修指導者に向けた講習会 開催
- ②新たな公認「私の研究会」誕生、学術活動がさらに活発に

### 12 新入会員紹介

### 13 Member's Voice

随想 川本 力雄

### 14 組合だより

### 15 トピックス

# 柔道整復師としての 新たな歴史を築いていこう

～健やかな地域社会創造に我々の技能をいかす～

## ラグビー日本代表 感動の試合の陰に…

『Viva City』ご愛読者のみなさまには、日頃より当会の活動にご理解ご協力を頂いておりますことに厚く感謝申し上げます。今年度より公益社団法人石川県柔道整復師会副会長を拝命いたしました二ツ谷剛彦です。嶋谷清会長のもと執行部一丸となって、柔道整復師業界の発展のために邁進していきたいと思っておりますので、今後ともご支援のほどよろしくお願ひいたします。

さて、先日行われましたラグビーのワールドカップ（W杯）イングランド大会では、日本代表チームが強豪南アフリカ代表に勝利した瞬間、真夜中ではありましたが、日本中が歓喜に沸きました。私も鳥肌が立つほど興奮したことをはっきりと覚えております。それは、日本代表のメンバーが、世界一過酷なトレーニングや練習を積み重ね、個々に「新しい歴史をつくるんだ!!」との信念を持って試合に挑んでいたことを知っていたからなのかもしれません。そして、チーム一丸となって勝利をつかみ取り、1次リーグで3勝という快挙を成し遂げ、ラグビー界に新たな歴史を書き上げたのです。

## 地域包括ケアシステムへの参入を視野に

一方、先ごろ厚生労働省による『診療報酬改定の4本柱』の概要が新聞紙上に記載されており、その中の一つに「地域包括ケアシステムの構築、重症患者向けの病床を転換、患者の状態に合った在宅医療」がありました。



■二ツ谷 剛彦  
(ふたつや たけひこ)  
(公社)石川県柔道整復  
師会 副会長

[プロフィール]

平成17年より理事6期目。その間、事業部長・保険部長・金沢北支部長・健康やわら体操普及委員長等を歴任、北信越ブロック柔道監督としても活躍する。平成27年4月に副会長及び、日整代議員に就任。柔道6段。

このことは、私たち柔道整復師が、接骨業務の他に機能訓練指導員としての技能をいかし、地域のみなさんとともに健康を維持していくことにつながるものであり、地域包括ケアシステムへの参入を視野に入れた取り組みをしていくことが、喫緊の課題と言えます。今こそ、国家資格を有する私たち柔道整復師が組織として一つにまとまり、私たちに出来る介護サービスとはどういうものなのかを、行政機関にご理解いただき、柔道整復師としての新たな歴史を築いていかなければならぬ時であると感じております。

国民医療費が膨らむ現状の中、まだまだ柔道整復師業界で解決していかなければならない問題が山積しておりますが、県民のみなさまが少しでも健康で安心して暮らせるように当会会員一同努力してまいる所存です。今一度みなさまにおかれましては、これまで以上のご理解とご協力をお願いいたしまして、私の挨拶とさせていただきます。



サポート接骨石川(S S I)は、公益社団法人石川県柔道整復師会会員によるボランティア組織です。ここでは県内各地で開催されたスポーツイベントでのケアサポートを中心に、さまざまな活動の一部をご紹介します。

## ■ サポート接骨石川(SSI)活動①

### KOMATSU全日本鉄人レース

快晴に恵まれた平成27年9月27日(日)、第34回KOMATSU全日本鉄人レースが開催されました。レースは小松市「こまつドーム」をスタート・ゴールに粟津温泉・木場潟周辺で行われ、中でも鉄人の部は動山(603m)、赤瀬ダム・尾小屋をめぐる過酷なコースです。今年も(公社)石川県柔道整復師会、日赤奉仕団サポート接骨石川(S S I)は、金沢大学トレーナー部KATT、北信越柔整専門学校の講師・学生の皆さんとともに、総勢70名でこの大会でのサポート活動を行いました。



選手へのアドバイスも重要な役割の一つ。

早朝5時。ブースの準備が整うとすぐに選手たちが集まり始めた。



鉄人の部はバイクからスタート。登山もある厳しいコースだ。

限界に挑戦する選手達。ガンバレ!!

#### ■ 320名の選手をケア・サポート

大会前日の26日は、開会式が行われるなかこまつドーム中央スペースにトレーナーブースを設営し、翌日の本番に備えました。

レース当日は、スタート前の午前5時頃からブース受付にテーピングや、コンディションの悪いところをメンテナンスしてほしいと希望する選手がぞくぞくと集まり30名の選手をサポート。またレース後は疲労困憊の選手290名がブースを訪れ、早朝5時から午後2時までの間に計320名の選手(参加586名)にメンテナンスサポートを行いました。

この大会の手厚いサポート体制は、選手や大会関係者からも高く評価されている。



選手達の疲れ切った身体をケアする。



最高の“おもてなし”をありがとうございます。



KATT、北信越柔整専門学校の皆さん、ご協力ありがとうございました。

9/13

## KOMATSU全日本鉄人レース ケア・サポート事前研修会を実施



平成27年9月13日(日)午後4時より、こまつドーム研修室において、KOMATSU全日本鉄人レースケア・サポート研修会が行われました。

まず佐藤裕之会員より『選手の

講師の佐藤会員。障害やケア』と題した講義があり、ランニング障害と低体温症について解説していただきました。その後、中田健市支部長よりサポート活動での注意点について説明があり、最後に堀松郁子会員による実技を交えたストレッチの研修を受け、終了しました。



ストレッチの  
実技研修。





## サポート接骨石川(SSI)活動②

# 野々市じょんからの里マラソン

平成27年10月18日(日)、第34回野々市じょんからの里マラソン大会が開催され、1,230人のランナーが参加。秋晴れの下、地元高校の吹奏楽部の演奏と沿道の応援に見送られながら、住宅街や田園地帯を力強く駆け抜けました。

### ■選手の故障の回避も重要な役割の一つ

大会前日の17日(土)にはブースの設営や事前研修会を行い、ケアの流れや選手への対応など、注意すべき事項について再確認しました。

大会当日の6時30分、野々市市民体育館の特設ブースに県内各地から約30名の会員が集合。レース前、レース後合わせて95名の選手たちにケアを施しました。

今年は下肢の疲労や疼痛を訴える選手が多く、「練習のし過ぎで…」「走りすぎて…」と口にされるのをよく耳にしました。その理由は、11月15日(日)に実施される金沢マラソンへの出場。野々市じょんからの里マラソンで自己ベストを出し、金沢マラソンにつなげたいという熱い想いが選手たちから伝わってきました。



金沢マラソンに向けて、コンディショニングのアドバイスにも熱が入る。



2015.10.18



野々市市ゆるキャラ「のつティくん」も登場!



西川支部長がプレゼンターとなつて金沢南支部賞を進呈。

その気持ちに応えるべく、会員たちはテーピングやストレッチを入念に行なうなどケアや指導にも熱が入り、特に、休息の重要性を選手たちに訴える声があちらこちらから聞こえました。走る競技はあくまでも一人。自己管理の難しさから無理をして、障害や外傷につながってしまうケースが少なくありません。ランナーの焦る気持ちを落ち着かせ、これらを回避することにもSSIの活動が一役買っていると感じられた大会でした。



## サポート接骨石川(SSI)活動③

# 第1回 金沢マラソン2015



日本陸上競技連盟・国際  
陸上競技連盟・国際マラソンロー  
ドレース協会(AIMS)公認コース  
に約1万2,000人が挑戦。



サンジも走る！  
北陸新幹線も走る!!



園風景と白山連峰を眺めながら走る、金沢を堪能できるコースです。スタートからゴールの西部緑地公園陸上競技場まで、沿道の人垣が途切れることなく、「がんばれー」という激励の声、ダンスや太鼓、プラスバンド演奏などでランナーに声援が送られていました



走る人も応援する人  
も、みんなが楽しん  
だ大会でした！

### ■ゴール後の429名にケアを実施

今回の大会では約6,000人のボランティアが裏方として運営を支え、エイドでの水分補給や給食配給、スタートやゴール後の案内誘導や声かけなどで活躍しました。(公社)石川県柔道整復師会も、1万人超という膨大なランナーにゴール後のケアを行うため、IST(石川県スポーツトレーナ連絡協議会・石川県体育協会スポーツ医学委員会・(公社)石川県鍼灸師会、(公社)石川県鍼灸マッサージ師会・石川県理学療法士会・日体協JASA-AT)、金沢大学KATT(金沢大学トレーナ部)のメンバーと協力してサポート活動にあたりました。

大会前日は、午後からベットや備品等を搬入し、遅くまでブース設営を行いました。そして、大会当日は朝から雨！午前10時には活動に参加する90名全員が揃い、低体温症に備えてストーブを用意するなど、午前11時30分頃からゴールしてくる選手たちを迎えるための準備を整えました。幸い、午後から薄日が差したためその心配も薄れ、ランナーの多くは急性期の

錦秋の古都金沢で平成27年11月15日(日)、「金沢をまるごと『走る！』」をキャッチフレーズに金沢マラソン2015が初開催され、全国各地や海外から1万1821人のランナーが参加。金沢市役所前から石川県西部緑地公園陸上競技場までの多彩な景観を楽しみながらコースを駆け抜けました。

雨降りの中、午前9時の号砲により一斉にスタート。コース序盤は、兼六園や石川門など歴史を感じる街並みを走ります。金沢駅前で折り返し、武蔵ヶ辻、香林坊などの繁華街を抜けて郊外の山側環状線へ。コースの最高標高地点(約70m)を過ぎる12km地点からは長い下りで市内中心部に向い、金沢大学などの学生が多い杜の里、金沢らしい町家商店街や小路の多い賢坂辻を経て再び郊外へ。目の前に広がる田



日本人トップは七尾市の一花健選手。



台湾から参加した選手が国旗を持ってゴール！

炎症で、下肢や体幹部のメンテナンスケアやストレッチが喜ばれました。ケアの最中に下腿部の痙攣が発生するランナーもいましたが、コースの風景やタイムのこと、沿道の応援などについて会話が弾んでブース内は熱気に溢れ、暗くなる午後5時頃までに429名にケアを施して成功裏に活動を終えました。また隣では、北信越柔整専門学校のブースも設置されケア活動を行っていました。

県内最大のフルマラソン大会「金沢マラソン」の大会実行委員として、本会は計画当初から携わってきました。ブースの設置場所が屋外テントだったため発生した問題など、今回の活動での課題を次回に活かしたいと思います。観客と共にスタッフ一同でランナーをおもてなしすることに徹しながら、今後も良いサポート活動が出来るよう努力していきます。

終わりに、本会からは理事の中田健市、木山

隆久、森田淳ほか数名の会員が大会に参加して無事完走。ゴール後にブース前で会員の歓声に迎えられた後、サポート活動に合流する光景も見られました。



金沢マラソン組織委員会会長である山野之義市長からの励ましの言葉に皆の士気も高まった。



ランナーをもてなすことに徹してサポート活動を行ったメンバー。



10/6

## 金沢マラソン事前研修会が開催される

平成27年10月6日(火)午後8時30分より、柔整会館3階道場において金沢マラソン事前研修会を開催しました。「選手の障害やケア・サポート活動の注意点」と題して、佐藤裕之会員が陸上に特化したケアのポイントと手技を実技指導、一人の選手に対するケアの時間を設定して、その中で最大限に効果を引き出す方法の一例も紹介しました。続いてケア・サポートにおけるサービス・質の向上について西川典孝会員が講義を行ない、大会概要、ケア活動のスケジュール等の説明をしました。

初の試み

研修会の様子をホームページにアップしました。会員の方は、本会ホームページ→会員専用ページ→ID →ishisei → sekkotsu555と進むとご覧いただけます。



大会も一か月後に迫り、参加会員は真剣に聴講していた。

佐藤会員が自身で行っている手技を実演した。

## サポート接骨石川(SSI)活動④

# 各地域の総合防災訓練に参加



大きな自然災害が相次ぐ日本列島。当会では、東日本大震災・広島市土砂災害などの大災害を教訓に県内各地で繰り広げられる防災訓練に参加して、避難誘導や救助活動に取り組むと同時に、災害時の応急処置など緊急時に役立つ知識を一般の方に広める活動を行っています。

### 石川県総合防災訓練

▶▶▶9月6日（日）

91機関・約2,800人が参加して、内灘町内を中心に行われました。

「県西方沖を震源とするマクニチュード7.8の地震と大雨による土砂災害」を想定しての訓練でしたが、実際に訓練開始時に大雨が降り、県西方沖にマグニチュード4.2の地震が発生！想定に近い、緊張した状況の中での訓練となりました。

本会からは9名の会員が参加し、河北郡内灘町立西荒屋小学校体育館に(公社)石川県柔道整復師会日赤奉仕団の救護所を設置、災害が発生した際の負傷者に対する固定・処置の訓練を実施しました。あらゆる外傷を想定しながら、緊急時でも比較的手に入りやすいペットボトルや新聞紙・雑誌、レジ袋・ダンボール等を使用した応急処置を紹介し、小さな子ども連れのご家



被災現場では臨機応変な対応が重要。視察に訪れた谷本知事も本会の救護活動に関心を示しておられた。

さまざまな外傷を想定して、応急処置法を紹介した。



新聞紙や雑誌、買い物袋など、身近な日用品が応急手当に大活躍！



小さな子どもを連れたご家族に体験してもらう。

族に体験してもらいました。

視察に訪れた谷本正憲石川県知事(訓練本部長)は、本会の救護活動について大変興味を示され、説明した金田豊茂金沢北分団長に質問や感想を述べておられました。

我々は、能登沖地震・東日本大震災の被災地で行ってきた活動経験を少しでも生かしたいという思いから、毎年、日赤奉仕団としてこの訓練に参加しています。緊急時の対応を住民の皆さんに体験していただき、一人でも多くの方に応急処置の知識を持っていただくため、今後も参加協力していきます。

白山市出城地区総合防災訓練  
▶▶▶9月6日(日)



地域住民ら約700名が参加した。

当日は、炊き出し訓練も行われていた。

曇り空の下、早朝6時30分より白山市立蕪城小学校グラウンドにおいて実施された防災訓練に、(公社)石川県柔道整復師会日赤奉仕団として参加。災害時の緊急対応、ケガをした際の処置を参加者に体験してもらいました。また前日は事前準備・研修会を開催し、当日に備えました。

今回の訓練は「午前7時30分頃、西方沖を震源とするマグニチュード7.2の地震が発生、



説明をしながら応急手当を実演。



今回の訓練では、参加者に体験してもらうことを心がけた。

白山市において震度6強の強い揺れを観測し家屋の倒壊や火災、負傷者が発生した」との想定のもとで行われ、地域住民ら約700名が参加しました。

今年度は体験型訓練を心がけました。応急手当訓練については、四肢の骨折に対して身近にある傘、段ボール、ビニール袋等を工夫した固定法などの説明と実技を行い、その後、参加住民自ら簡易担架を作成、骨折固定、搬送までを体験してもらいました。

当日は、想定ではなく実際に加賀西方地震が発生し、緊張感のなかでの訓練となりました。

白山市松任地区8町合同防災訓練  
▶▶▶10月4日(日)



参加者をモデルに、緊急の現場で役立つ固定法を実演した。

簡易担架の作成、応急処置、搬送までの一連の流れを見るために実際には実演してもらつた。



「午前8時頃、石川県西方沖を震源とするマグニチュード7.0の地震が発生し、白山市において震度6強の強い揺れを観測。家屋の倒壊やライフラインの損壊などの被害が発生したため、町内ごとに一次避難所から二次避難所へ避難、そして負傷者が発生した」との想定のもと、白山市松任高校グラウンドにて防災訓練を実施。安田町、中町、鍛冶町、横町、西新町、馬場町、茶屋町、博労町の住民約400名が訓練に参加しました。

(公社)石川県柔道整復師会日赤奉仕団とし

て金沢南支部会員8名が参加し、体験型訓練として地域住民に対応しました。四肢の骨折に対する応急手当訓練では、身近に

ある傘、段ボール、ビニール袋等を工夫したシーネ固定等について説明と実技を行ったほか、参加住民が自分で簡易担架を作成、ケガ人にシーネ固定を施して搬送するという一連の流れを体験しました。

訓練途中、山田憲昭市長と西川寿夫市議会議長が観察に訪れ、激励の言葉をいただきました。



視察に訪れた白山市 山田市長。

## サポート接骨石川 SSI

### 今後の活動スケジュール

#### ●能登和倉万葉の里マラソン

開催月日／平成 28年3月13日（日）

開催場所／和倉温泉

#### ●加賀温泉郷マラソン

開催月日／平成 28年4月17日（日）

開催場所／加賀市陸上競技場

※ISTへの参加協力、各イベントやスポーツ大会での救護活動、講師派遣等は隨時行っています。

## 支部だより

### 金沢南支部 恒例

#### 草刈奉仕活動「チャレンジ・マイハート」を実施！

さわやかに晴れ渡った平成27年8月23日(日)、金沢南支部恒例の草刈奉仕活動が野々市市社会福祉法人「石川サニーメイト」で行われました。

会員家族約30名、そして施設職員の皆様が早朝6時に集合し、石川サニーメイトの正木明理事長と当会の西川典孝南支部長の挨拶の後、いつものように手際よく草刈りを開始。今年から刈り取った草は再生利用するため、堆肥場に集めました。

平成12年から始まったこの活動も今年で16回目、他支部からも多くの会員に参加していただき、7時30分ごろに終了しました。



路肩も心も  
スッキリときれいに。



16回目ともなると  
作業も手慣れたもの！



今年も気持ちのいい汗をかきました。

## 第39回 厚生労働大臣旗争奪日整全国柔道大会

# 健闘が光る! 北信越西部 3位に

平成27年10月12日(月・祝)、東京 講道館で第39回日整全国柔道大会が開催され、石川、福井、富山の3県で編成された北信越西部チームが健闘し、第3位となりました。

石川県からは、北信越西部として小倉弘行、城竇忠信、田中寿人の3選手が出場。初戦は東海西部との試合を4 - 0で、続く二回戦は中関東を2 - 0と危なげなく下し、順当に勝ち上がりました。迎えた準決勝では、強豪擁する近畿に対し1 - 2と惜しくも敗れ、3位に終わりました。

なお、北信越西部からは八木本通秋選手(福井)が優秀選手賞を受賞しました。

<b>優 勝</b>	東 京
<b>準優勝</b>	近 畿
<b>3 位</b>	北信越西部
<b>3 位</b>	南関東B



全国から集まった選手たちが一堂に。すごいオーラだ!

### 試合結果

#### 〈1回戦〉

北信越西部 4 - 0 東海西部

#### 〈2回戦〉

北信越西部 2 - 0 中関東

#### 〈準決勝〉

北信越西部 1 - 2 近 畿

#### 〈決 勝〉

東 京 1 - 1 近 畿

(代表戦で東京)

### 北信越西部チーム

監督	佐々木西盛 <6段> 福井
大将	八木本通秋 <6段> 福井
副将	小倉 弘行 <5段> 石川
中堅	城竇 忠信 <5段> 石川
次鋒	田中 寿人 <5段> 石川
先鋒	宮越 将太 <2段> 富山

また、同時に開催された日整全国少年柔道大会に石川県代表として出場した鶴来坂田道場は、惜しくも二回戦(初戦)で青森に敗れました。

※大会結果詳細は日整HPをご覧ください。



3位と健闘を見せた北信越西部チームの皆さん。



日整全国少年柔道大会に石川県代表として出場した鶴来坂田道場の皆さん。



## 学びReport①

# 柔道整復師卒後臨床研修指導者に向けた講習会 開催

主催■公益財団法人柔道整復研修試験財団

平成27年7月26日(日)午前10時より午後4時まで、北信越柔整専門学校にて柔道整復師卒後臨床研修指導者のための技術講習会が開催されました。この講習会は、国家資格取得後に施術所で臨床経験を積む際の指導者としてふさわしい人材を育成するためのもので、石川県を中心に開業する柔道整復師が参加しました。

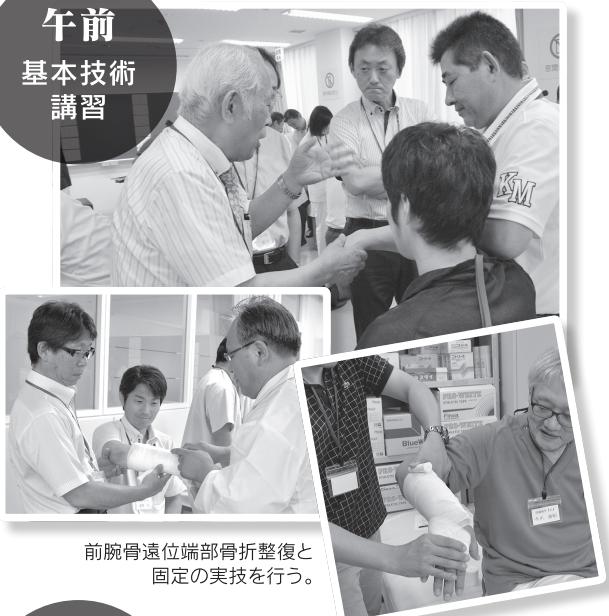
開会に際し公益財団法人柔道整復研修試験財団 一場米二事業部長が説明を行い、学校法人木島学園北信越柔整専門学校 碓井貞成理事長・校長が開講挨拶、公益社団法人石川県柔道整復師会 嶋谷清会長、公益財団法人柔道整復研修試験財団 福島統代表理事の挨拶の後、講義が始まりました。

午前中は櫻井喜久司弁護士による「柔道整復師のためのリスク対策」、日本柔道整復接骨医学会 高崎光雄理事の「基本技術講習」では、前腕骨遠位端部骨折整復と固定の実技がありました。午後からは北信越柔整専門学校 渋谷利之・川崎悠貴講師による膝部軟部組織損傷の徒手検査で、ラックマンテスト・前方引き出し検査・マックマレーテスト・側方動搖性テスト、牽引・

本会からは35人の会員が受講した。

圧迫アプライテスを行なうグループに分かれて討論し実技の確認を行いました。休憩後、柔道整復研修試験財団 福島統代表理事が「卒後臨床研修の必要性」を講義した後、修了証が授与され、石川県柔道整復師会 嶋谷清会長の閉会の辞で終了しました。

### 午前 基本技術 講習



前腕骨遠位端部骨折整復と  
固定の実技を行う。

### 午後 膝部軟部 組織損傷の 徒手検査



講師が見守る中、各検査法を実演。



## 学び Report②

# 新たな公認「私的研究会」誕生、 学術活動がさらに活発に



平成27年9月9日(水)柔整会館で、今年度、(公社)日本柔道整復師会公認「私的研究会」として承認された「石整臨床研究会」が学術研修発表を行いました。

日本柔道整復師会では、柔道整復師の学理及び技術に関する発展及び社会貢献に寄与することを目的とする生涯学習活動の趣旨にふさわしい団体を公認「私的研究会」として承認し、研修機会の確保を図っています。これまで(公社)石川県柔道整復師会には二つの公認「私的研究会」がありましたが、平成27年6月8日、新たに「石整臨床研究会」と「サポート接骨石川研究会」が承認を受けて新規登録されたものです。

9月9日に開催された「石整臨床研究会」では、岡本透会員が「新しいプレゼンと超音波と今後の研究提議」と題して発表を行い、その後参加者とディスカッションを行っていました。

※「石整臨床研究会」と「サポート接骨石川研究会」は加賀・金沢南・金沢北・能登の4つの支部それぞれで登録されたため、石川県柔道整復師会の公認「私的研究会」は計10件になりました。



学術研究発表を行う石整臨床研究会の岡本透会員。



発表を前に中田健市学術部長が挨拶。



発表後ディスカッションが行われた。

## 新入会員紹介

よろしくお願いします！



金沢北支部

平成27年9月25日入会

**平田 茂豊**

(ひらた しげとよ)

生年月日 昭和54年9月27日  
出身校 北信越柔整専門学校  
住所 金沢市畠中1-12-2  
接骨院名 平田鍼灸整骨院  
電話 076-268-8889  
特技・趣味 ドライブ・映画鑑賞

# Member's Voice

投稿

「つぶやき考」その2

## 見えない根っこ— 先哲の魂の伝承を

某日、山代温泉の湯の曲輪(ゆのがわ)にある「つぶやき」の看板の前に再び立った。と言うのも、以前ここを訪れた際にふと感じたことを巻頭言で認めめたことがあります。冬至より短くなりぬ年月日、時は巡り、本年は社団設立40周年を迎える。

私が入会した頃は会員70数名、入会してすぐは保険取り扱いも許されず、保険指導は畳の上で正座(運悪く敷居の上)でした。なかなか許可されないゆえ、若気の至りでしょうか、若輩を顧みず悶々とした挙げ句に当時の会長・副会長に直談判。総会に続く懇親会の席では、来賓より先に席を立ったところ喝! 別室にて正座のうえ、懇々と厳しさの中にありがたいお説教(指導)をいただきました。こんな礼を欠く態度は許されることではないんだと、以来、我が身を律していますが…。

さて、小生は年がなければ74歳、滅多に驚くことはないので、過日のわが師会の会員の失態に続いての新聞報道。接骨院で療養費不正受給、患者名無断使用申請の大きな見出しにビックリ。警視庁組織犯罪対策四課に詐欺行為で逮捕、この衝撃! この事実。

先般、財務省より「受領委任が実施可能な施術所の限定に関する提言」がなされたと聞き、今後は管理者の位置づけの構築もなされるであろう。“明”と出るか“暗”と出るか。業務存続の危機? 施術所分別の意義は大きい。



金沢南支部  
**川本 力雄**

本年6月8日、本県が登録申請を行った公認私的研究会8件が日整理事会で承認された。公認私的研究会は学の構築の基盤、何よりもまず、「学」「技術」「意識」の改革だ。

花は枝に支えられ  
枝は幹に支えられ  
幹は目に見えない根っこに支えられている  
—相田 みつを—

40周年の節目、私達は先哲の魂の伝承を忘れてはならない。

卷頭言

**川本 力雄**  
金沢南支部  
部会長  
プロフィール川本力雄は、昭和46年に高岡市議会議員として初選出され、その後、市議長も務め、平成13年には、高岡市議会議員を最後に引退した。  
著者略歴川本力雄は、昭和46年に高岡市議員として初選出され、その後、市議長も務め、平成13年には、高岡市議会議員を最後に引退した。

「つぶやき」から進取へ

60 April

1

「つぶやきから進取へ」のタイトルで書いた、VOL.60号(平成15年4月25日発行)の巻頭言。ささやかでも前向きな「つぶやき」を聞き逃すことなく、会を進化させるための財産にしようと呼びかけた。

# 組合だより

石川県  
柔道整復師協同組合  
設立20周年記念

## 指定業者 初企画! 特別商談フェスタを開催

ミニセミナー等もあり、盛りだくさんの内容だった。

平成27年7月5日(日)午後12時30分より、ホテル金沢2階「ダイヤモンド」において、協同組合設立20周年記念「指定業者特別商談フェスタ」が開催されました。協同組合初の企画であり、組合が購入額に応じた補助金を提供することによって組合員の購買意欲が向上し、組合員と指定業者双方の利益につながること、また、組合員同士や指定業者との親睦を深めることを目的とした企画です。

はじめに橋本大衛理事長より「組合設立20年にして初めての企画であり、大いに盛り上がることを期待します」と挨拶があり、田村修一専務理事が鐘を5回鳴らして商談スタート! 鐘を5回鳴らすのは、「五穀豊穣」を意味すること。

開始早々より商談が続々と成立し、30分経過の時点で「商談取引額800万円越え」との発表で会場がどよめきました。その後、岡本透総務委員長による超音波観察に関するミニセミナー、指定業者からのアピールコーナーもあり、あつという間に2時間が経過。岡本総務委員長より「総取引額が1,800万円余り」と報告があり、盛会のうちに終了しました。商品説明をじっくり聞くことができた組合員、しっかりと説



初企画のフェスタ開催を前に、橋本理事長より挨拶。

明することができた指定業者、どちらにもメリットがあつたとの意見が多数寄せられました。

午後3時より懇親会に移り、組合員や指定業者の方々で親交を深めました。橋本理事長の挨拶の後、久世正次相談役の音頭で乾杯。酔いがほどよく回ってきたところで各指定業者より提供のあった景品で大抽選会が行われ、会場は一喜一憂。二ツ谷剛彦副会長がプレゼンターとなった石川県柔道整復師会会长賞は堀松郁子組合員がゲットし、最後の組合理事長賞はナンと、その二ツ谷副会長に! 3万円分の商品券を獲得しました。壇上では、公益社団と組合が両輪となってしっかりと会員を支えていくことを誓い、橋本理事長と二ツ谷副会長が固い握手を交わしました。最後に田村専務理事による三本締めでお開きとなり、「フェスタ」らしく賑やかなうちに終了しました。



業者の丹念な商品説明にじっくりと耳を傾ける。



準備に奔走した皆さん、お疲れ様でした。

## トピックス①

### (公社)石川県柔道整復師会と石川県柔道整復師協同組合が初の協議会

平成27年7月25日(土)  
午後3時30分より、柔整会館にて(公社)石川県柔道整復師会と石川県柔道整復師協同組合の協議会が開催されました。

今年度行われる周年事業を機に互いの意思疎通を図り、双方とも(公社)石川県柔道整復師会会員として実りある活動ができるることを目的に、初めて開催されたものです。

開会にあたり、本会 嶋谷清会長は「時代に即した巾広い意見を基にした活動をするため、各組織の理事の方々に集まっていただいて多様な意見を集約し、未来に向けた有益な活動にしていきたい」と述べ、続いて協同組合 橋本大衛理事長が「組合も本会の活動を理解し、少しでもお役にたてるよう協力したい」と述べました。

協議会では、創立90周年・社団設立40周年・協同組合創立20周年の行事について協議し、進捗状況や今後の予定、協力事項について確認が行われました。



本会 嶋谷清会長



協同組合 橋本大衛理事長

## トピックス②

### 第1回健康やわら体操普及委員会開催



改訂された新しい体操の動画を見ながら。

平成27年10月8日(木)午後9時から、柔整会館2階会議室にて第1回健康やわら体操普及委員会を開催しました。

はじめに、今年度新しく委員長となった木山隆久理事からの挨拶と委員の紹介がされた後、次の議題について協議を行いました。

#### 【議題】

1. 今後の活動について
2. 活動場所について
3. 健康やわら体操の練習について
4. 健康やわら体操のビデオ撮りについて



本会と協同組合の役員が一堂に会する会議は今回が初めて。

トピックス③

## 創立90周年・社団設立40周年 柔道整復師協同組合設立20周年 記念式典・祝賀会が開催される



平成27年11月29日(日)、ホテル金沢において当会の創立90周年・社団設立40周年・柔道整復師協同組合設立20周年記念式典・祝賀会が開催されました。県内、県外よりたくさんのご来賓をお迎えし、大成功裡に式典・祝賀会を終えることができました。これも会員・実行委員・事務局の皆様のおかげと感謝しております。

なおこの模様は、次号(viva city13号・石整広報99号)に詳しく掲載いたします。また、広報部・IT委員会より記念DVDも発行されますのでご期待ください。

トピックス④

## (公社)石川県柔道整復師会HPが一層充実 各会員のホームページも完成!

公益社団法人石川県柔道整復師会では、当会の事業内容についてもっと知りていただけるよう、事業予定や活動の様子などをホームページ上で公開しております。また、石川県柔道整復師協同組合においても同様、どなたでも閲覧できるようになっています。ぜひともお読みいただきたい記事が満載ですので、どんどんアクセスしてみてください。

創立90周年・社団設立設立40周年記念事業として、お住まいの地域にある各会員接骨院のホームページもご覧いただけるようになりました。ぜひ皆様の健康サポートにお役立てください。



### (公社)石川県柔道整復師会

URL <http://jyuusei-ishikawa.jp/>

アクセス簡単QRコード

アクセス簡単QRコード

### 石川県柔道整復師協同組合

URL <http://www.ishiju.jp/>

❖人生で初めて入院した。今まで健康だけが自慢だったが、これまでとは違う考え方で生活をしなければならなくなり、実行しないといけなくなつた。日頃から「身体を甘く診てはいけません。しっかりと精進しなさい」なんて言つていた自分が恥ずかしい。何よりも「無病息災」「一病息災」が大事、そして改めて家族への感謝も実感した。元気で仕事が出来るって素敵なことです。  
(SUGAR)

❖石整広報誌も、もうすぐ100号発行を迎えることとなり歴史を感じます。大先輩の先生方がご活躍する記事を第1号から拝読し、懐かしくも嬉しく、時を忘れて見入ってしまいました。この1ページに携わることができ光栄に思います。  
今年も禍福さまざまの一年でしたが、念願の第1回金沢マラソン大会で完走でき感謝です！皆さんよい年をお迎えください。  
(記八馬)

❖金沢マラソンの取材に行きました。雨の中をウォーミング・アップしている人にカメラを向けたところ「ダメダメ」と合図。「なんだよ、面倒な人」と思つたら、その人がどんどんこちらにやって来ます。「うわっ、クレーマーかよ。やばいじゃん」と思つているうちにすぐ近くまで来て、周りに聞こえない声で「レンズのキャップ、ついてますよ」。すごくいい人でした。  
(中野)

❖この春に開通した北陸新幹線、半年が過ぎてなおその勢いは収まる気配を見せません。普段外に出かける機会の少ない私でも、毎日の患者さんとの会話の中からその影響の大きさを感じ驚くばかりです。自分の住んでいる街が、自分の知らない間にどんどんと変貌していくことに少し戸惑いを感じるのは私だけでしょうか。  
(小松)

❖染色画家 烏羽美花氏の石川県中小企業団体中央会創立60周年記念講演「心の原点を見つめて」を拝聴した。千年の歴史を持つ日本独自の伝統技法「型染め」をもつて深遠な色彩の世界をいかに実現していくか、染色絵画を確立し世界に展開していくというメッセージに、本物の芸術家魂をみた。双子の蚕が作る繭を選別した糸で織った白山紬(白峰村の牛首紬)を使い、やり直しのきかない18の工程があるとのこと。烏羽氏のすばらしさに感動したうえ、白峰村をますます好きになったぞ。  
(橋本)

❖春と秋に発生するナメクジ。作物を食い荒らすうえ、その異様な形態から常にみんなの嫌われもの。かたやカタツムリは童謡で歌われるよう、可愛いイメージがついています。殻があるか無いかでずいぶんと扱いが変わります。ナメクジもカタツムリも動きは遅いですが、自分の歩んできた道には必ず足跡を残す。そこだけは見習いたいものです。  
(太田)

❖「不食」…食欲と闘わずして食べない行為。俳優の榎木孝明さんが1か月間「不食」を行ったという記事を見て、3か月前から朝食は水、昼食は水とバナナ、夕食は普通に食べるという生活を週に4～5日行ってみました。体の変化といえば体重が5キロ落ちたこと、不整脈が起きないようになってきたこと。最近「食」ってなんだろう？って、考えています。  
(あら？ フイフ)

❖この秋盛り上がつた野球のプレミア12とラグビーワールドカップを見ながら、ふと思つた。ベースボールは「野球」とも言うが、ラグビーはラグビーだ。さて、漢字表記はあるのかなと思い検索すると「闘球」だった。なるほど納得！そして他のスポーツは、アイスホッケーが「氷球」、ハンドボールが「送球」、ボウリングが「投球」等々、実に上手く漢字をあてているものだ。  
(湯どうふ)

❖なんでも金沢は全国トップの雷が多い地域だそうな。一つになだらかな土地で標高が急に高くなると、そこに雷が落ち易くなるのだと。我が実家周辺の地形が正にそれ。9年前に有線ターミナルが吹き飛び家電がほぼ全滅の憂き目に、一昨年は電柱の変圧器が焼損するなど被害の多いこと！せてもと雷サージ対策機器を設置したが、直撃されたらなんの意味も無いそうで…。  
(0.1豚さん)



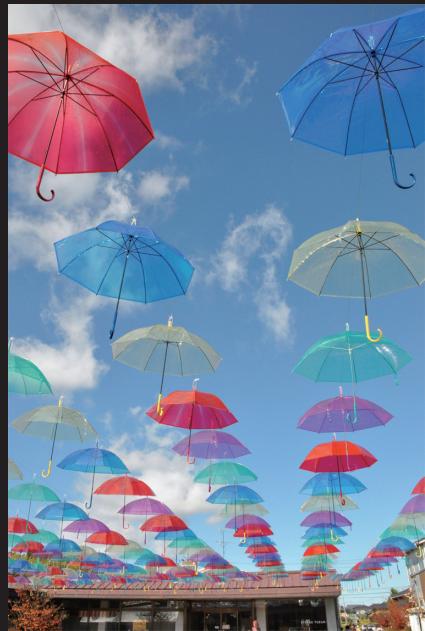
ビバ・シティVOL.12 石整広報98 (平成27年12月20日発行)

■発行所／公益社団法人石川県柔道整復師会  
石川県金沢市広岡2丁目3-26  
TEL076-233-2122(代) FAX076-233-2196  
E-mail ishiju@spacelan.ne.jp

■発行者／嶋谷 清

■編集者／佐藤 裕之・木山 隆久・中野 秀人・小松 英夫・橋本 大衛・太田 信幸・木藤 正幸・唐木 均・五十嵐 久智





撮影 金沢南支部 木山 隆久会員  
使用カメラ:ニコン D90  
使用レンズ:AF-S NIKKOR 18mm-300mm  
撮影データ:F14 1/800秒 ISO1250  
焦点距離18mm

[九谷五彩SKYパラソル]  
文化の日に九谷陶芸村祭りで開催されていた「のみの美アートフェスタ」のイベント会場で、多数のパラソルに目を奪われました。パラソルは九谷五彩(赤、黄、緑、紫、紺青)にちなんだ5色で、その数310本!「ウルトラアートde元気プロジェクト」の米田毅さんの作品です。  
壮大なスケールと鮮やかな色彩に気分も明るくなりました。



公益社団法人 石川県柔道整復師会

石川県金沢市広岡2丁目3-26  
TEL076-233-2122㈹ FAX076-233-2196  
E-mail [ishiju@spacelan.ne.jp](mailto:ishiju@spacelan.ne.jp)